

## 4. PBL モデル教材の概要

### 4.1. 概要

PBL モデル教材は、産学連携型学内実習（デュアル教育）実践におけるリファレンスモデルとして開発した。専修学校がデジタルコンテンツ分野の学科等において、デュアル教育の企画・導入を検討する際に、参考例として活用してもらうケースの他、この PBL モデル教材をそのまま、もしくは各校の状況等に応じてカスタマイズして活用してもらうケースも想定としている。

教材の内容は「知識編」と「演習編」で構成されている。

「知識編」では、学生が PBL に取り組むにあたって、その前提となる知識を取り上げている。具体的には、デジタルコンテンツ制作プロジェクトに関する専門知識や、プロジェクトの進め方・制作工程の専門知識などである。

「演習編」は、既存 Web サイトのリニューアル案件をテーマとするプロジェクト演習である。ここでは、要求分析から提案書の作成という制作プロジェクトの上流工程から、設計（デザイン）、実装（プログラミング）、評価といった下流工程までの一貫したプロセスを学習する。

さらに、「知識編」「演習編」のいずれについても、この教材を利用して授業を担当する教員に向けた「指導ガイド」も用意している。「指導ガイド」では、指導上の重要なポイントや内容を解説する際に有用な情報などが取り上げられている。

### 4.2. 内容

#### 4.2.1. 知識編

PBL モデル教材「知識編」の内容構成を以下に示す。

表 4-1 知識編

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>① 基本用語リスト</li><li>② デジタルコンテンツ制作プロジェクトの基礎知識</li><li>③ プロジェクトマネジメントの基礎知識</li><li>④ Web 制作における要求分析の基礎知識</li><li>⑤ 開発要件定義の基礎</li><li>⑥ チームによる設計（デザイン）作業の基礎知識</li><li>⑦ Web サイト評価の基礎知識</li></ol> |
|---|

- ⑧ Web 開発プレゼンテーションの基礎知識
- ⑨ PBL プレゼンテーションの相互意見/拝聴の基礎
- ⑩ グループワークリーダーシップ、フォロワーシップの基礎知識

#### 4.2.2. 演習編

PBL モデル教材「演習編」の内容構成を以下に示す。

表 4-2 演習編

##### 演習用教材

- ① 要求分析・提案フェーズ
  - 1) ヒアリング演習
  - 2) 要求分析演習
  - 3) 提案書作成演習
  - 4) 企画書評価演習
- ② 設計（デザイン）フェーズ
  - 1) ワイヤフレーム作成演習
  - 2) デザイン案作成演習
  - 3) 評価と改善演習
- ③ 実装（プログラミング）フェーズ
  - 1) HTML コーディング実習
  - 2) テスト演習
- ④ 評価フェーズ
  - 1) チームプレゼンテーション
  - 2) 相互評価演習